

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 1 項 2 目 道路照明費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	1,064,669		3,600		831,866	30,000	199,203
執行見込額	1,154,289		3,600		831,866	30,000	288,823
今回補正額	89,620	0	0	0	0	0	89,620

**【事業概要】**

夜間の交通事故防止及び車両交通の円滑化を図るため道路照明灯の設置、維持管理・老朽化した道路照明の更新をしています。  
(道路照明費の内訳に道路照明灯等の光熱水費が含まれます)

**【補正概要】**

燃料価格高騰の影響に伴い、道路照明灯等の光熱費（電気料金）を増額補正します。

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
道路照明費	1,064,669	89,620	1,154,289	電気料金高騰の影響に伴う光熱費の増
			0	
			0	
合 計	<b>1,064,669</b>	89,620	1,154,289	

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 1 項 2 目 エレベーター等管理費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	使用料及び手数料	その他	市債	一般財源
現計予算額*	508,813			224,159	23,294		261,360
執行見込額	527,695			224,159	23,294		280,242
今回補正額	18,882	0	0	0	0	0	18,882

**【事業概要】**

昇降機設備（エレベーター及びエスカレーター、トラベーター）利用者が安全かつ安心して利用できるよう、法令に基づく設備の保守点検及び運転監視委託を実施するとともに、故障個所の整備を実施する。

**【補正概要】**

燃料価格高騰の影響に伴い、エレベーター等の光熱費（電気料金）を増額補正します。

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
エレベーター管理費	508,813	18,882	527,695	電気料金高騰の影響に伴う光熱費の増
			0	
			0	
合 計	508,813	18,882	527,695	

\*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年 度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 1 項 3 目 道路等維持費（道路修繕事業）

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	使用料及び手数料	その他	市債	一般財源
現計予算額*	10,782,299	10,000		4,716,641	9	1,500,000	4,555,649
執行見込額	11,782,299	10,000		4,716,641	9	1,500,000	5,555,649
今回補正額	1,000,000	0	0	0	0	0	1,000,000

**【事業概要】**

昭和27年に制定された道路法の第42条に記載されている『道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もつて一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。』という理念をもとに市管理道路の維持管理を行います。

**【補正概要】**

道路の舗装補修工事等の実施に伴い増額補正を行います。

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
道路修繕事業	10,782,299	1,000,000	11,782,299	
			0	
			0	
合 計	10,782,299	1,000,000	11,782,299	

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年 度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 1 項 3 目
交通安全施設等補修費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	386,114				83,942	122,000	180,172
執行見込額	452,114				83,942	188,000	180,172
今回補正額	66,000	0	0	0	0	66,000	0

**【事業概要】**

防護柵、案内標識、道路照明灯、区画線等の交通安全施設の機能を維持するための補修等を行うものです。

**【補正概要】**

◆実施概要

- ・対象：道路標識（片持式・添架式）
- ・標識管理数（総数）：1,384箇所
- ・補修基数：14基

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
①交通安全施設等	132,080		132,080	
②あんしんカラーベルト事業費	58,000		58,000	
③標識	70,000	66,000	136,000	道路標識の補修基数の増
④張出歩道	35,000		35,000	
⑤エレベータ等更新	90,000		90,000	
⑥その他（設計費、事務費）	1,034		1,034	
合 計	<b>386,114</b>	66,000	452,114	

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 2 項 3 目
道路特別整備費 橋梁整備費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	その他		市債	一般財源
現計予算額*	5,291,480	2,316,930		345,000		1,482,000	1,147,550
執行見込額	5,229,071	2,271,601		365,000		1,445,000	1,147,470
今回補正額	▲ 62,409	▲ 45,329	0	20,000	0	▲ 37,000	▲ 80

**【事業概要】**

横浜市道路局管理の橋梁について、老朽化や損傷による事故を未然に防ぎ、道路交通等に支障が生じないようにするため、計画的な点検・維持補修等を実施します。また、地震による倒壊や甚大な被害を防止するため、緊急輸送路上にある橋梁や鉄道・高速道路を跨ぐ橋梁等から優先的に、地震対策(耐震化)も行います。

○道路局管理橋梁 1,709橋(令和4年4月1日現在)

**【補正概要】**

国庫補助事業の認証減等に伴う減額補正及び国の経済対策補正を踏まえた増額補正を行います。

- (1) 国庫補助事業の認証減等 (減額補正) ▲531,864千円
  - ① 橋梁地震化対策4橋(鷹野橋人道橋他3橋)：▲35,190千円  
(横浜市道路局：4,810千円、横浜市環境創造局負担金：▲40,000千円)
  - ② 橋梁老朽化対策10橋(第1柳明橋他9橋)：▲496,674千円
- (2) 国の経済対策補正 (増額補正) 469,455千円
  - 橋梁老朽化対策4橋(末吉橋他3橋)：469,455千円 (横浜市：409,455千円、川崎市負担金：60,000千円)

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
橋梁整備費	5,291,480	▲ 62,409	5,229,071	国費の予算認証減等による減
			0	
			0	
合 計	5,291,480	▲ 62,409	5,229,071	

**【事業スケジュール】**

「長寿命化修繕計画」等に基づき、事業を継続していきます。

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年 度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 2 項 3 目
歩道橋長寿命化推進事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	620,986	274,673				194,000	152,313
執行見込額	624,347	276,519				193,000	154,828
今回補正額	3,361	1,846	0	0	0	▲ 1,000	2,515

**【事業概要】**

横浜市道路局管理の歩道橋について、老朽化や損傷による事故を未然に防ぎ、道路交通等に支障が生じないようにするため、計画的な点検・維持補修等を実施します。

○道路局管理歩道橋 327橋（令和4年4月1日現在）

◆実施概要（国庫補助事業及び市単独事業含）

補修設計委託料 7橋 点検委託 73橋 補修工事 16橋 使用料及び賃借料 1件

**【補正概要】**

国庫補助事業の認証減に伴う減額補正及び国の経済対策補正を踏まえた増額補正を行い、事業の早期進捗を図ります。

(1) 国庫補助事業の認証減（減額補正） ▲19,239千円

補修工事（花咲町歩道橋など7橋）

補修設計委託（三ツ沢第三歩道橋など1橋）

(2) 国の経済対策補正（増額補正） 22,600千円

補修設計委託（入船歩道橋など 4橋）

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
国庫補助事業	499,406	3,361	502,767	国の補正に伴う事業費の増
市単独事業費	121,580	0	121,580	
			0	
合 計	620,986	3,361	624,347	

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年 度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 2 項 3 目
歩道橋耐震対策推進事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	259,594	142,777				111,000	5,817
執行見込額	556,750	306,207				239,000	11,543
今回補正額	297,156	163,430	0	0	0	128,000	5,726

**【事業概要】**

横浜市地震防災戦略では、災害時の応急活動や物資輸送を支える道路ネットワークを構築するため、道路、港湾道路の整備・機能維持対策を進めています。

歩道橋耐震対策事業は、上記戦略に基づき、災害時における第1次緊急輸送路等の輸送機能確保のため、当該路線を跨ぐ横浜市道路局管理の歩道橋について耐震補強（耐震化）を行う事業です。

○第1次緊急輸送路等を跨ぐ横浜市道路局管理の歩道橋 103橋（令和4年4月1日現在）

◆実施概要

補修設計委託 8橋 耐震補修工事 8橋

**【補正概要】**

国庫補助事業の認証減に伴う減額補正及び国の経済対策補正を踏まえた増額補正を行い、事業の早期進捗を図ります。

- (1) 国庫補助事業の認証減（減額補正） ▲44,644千円  
耐震補修工事（通町歩道橋など 8橋）
- (2) 国の経済対策補正（増額補正） 341,800千円  
耐震補修工事（折本歩道橋など 13橋）

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
歩道橋耐震補強	259,594	297,156	556,750	国の補正に伴う事業費の増
			0	
			0	
合 計	259,594	297,156	556,750	

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 道路 局]

事 業 名
12 款 2 項 3 目
鶴見川橋りょう新設事業費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	715,000	355,000				355,000	5,000
執行見込額	895,000	445,000				445,000	5,000
今回補正額	180,000	90,000	0	0	0	90,000	0

**【事業概要】**

鶴見川中下流域（鶴見区～港北区）では、橋りょう間隔が広い箇所が残っており、地域の交通処理や兩岸の一体性、地域防災の面から課題が残っている。

本事業は、鶴見川中下流域の橋りょう新設の必要性が高い区間において、橋りょう新設整備を行うものである。

**【補正概要】**

国の経済対策補正を踏まえ、事業効果の早期発現を図るために事業費を増額します。  
鶴見川人道橋の下部工工事及び上部工製作を進めます。

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
鶴見川橋りょう新設事業	715,000	180,000	895,000	鶴見川人道橋の下部工工事及び上部工製作
合 計	715,000	180,000	895,000	

**【事業スケジュール】**

**鶴見川橋りょう新設事業**

	令和4年度			令和5年度								
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
A1橋台整備	→											
P1橋脚、A2橋台整備			→									
上部工製作							→					
A2橋脚整備										→		

\*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。



## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 2 項 3 目
無電柱化事業

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	907,804	453,860		10,000		296,000	147,944
執行見込額	1,054,474	507,650		10,000		397,000	139,824
今回補正額	146,670	53,790	0	0	0	101,000	▲ 8,120

**【事業概要】**

無電柱化は、都市の防災力の向上、良好な都市景観の形成や観光振興、安全で快適な歩行空間の確保に寄与する重要な取組です。平成30年に策定した「横浜市無電柱化推進計画」に基づき、緊急輸送路等の無電柱化を推進します。

**【補正概要】**

国庫補助事業の認証減等に伴う減額補正及び国の経済対策補正を踏まえた増額補正を行い、事業の早期進捗を図ります。

- (1) 国庫補助事業の認証減等（減額補正） ▲36,330千円
- (2) 国の経済対策補正（増額補正） 183,000千円

**【事業費の内訳】**

	現計予算額 A	補正額 B	補正後 現計予算額 A+B	説 明
無電柱化事業	907,804	146,670	1,054,474	国の補正に伴う事業費の増
	<b>907,804</b>	<b>146,670</b>	<b>1,054,474</b>	

\*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和4年度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 2 項 4 目 街路整備費 (※横浜北西線、道路建設事業団を除く)

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	10,022,314	4,763,117	29,000	60,000	273,005	4,152,000	745,192
執行見込額	9,484,933	4,469,308	40,000	60,000	273,005	3,897,000	745,620
今回補正額	△ 537,381	△ 293,809	11,000	0	0	△ 255,000	428

### 【事業概要】

市域の一体性を高めながら都市機能の強化を図るため、本市の骨格を形成する幹線道路（都市計画道路）網等の整備を、国土交通省都市局所管国庫補助事業等により実施します。

### 【補正概要】

国庫補助事業の認証減に伴う減額補正及び国の経済対策補正を踏まえた増額補正を行います。

#### ◆補正内容

南線関連街路、体系的な道路ネットワーク形成を図る道路整備、駅等へのアクセス向上に資する道路整備計画、緊急輸送道路網の構築に資する道路整備計画（防災・安全）

### 【事業費の内訳】

事業種別	R4年度 当初予算 (A)	R4年度 執行見込 (B)	差引(B-A)		
			事業費	事業費内訳	
				当初認証対応	国の経済対策補正
街路整備費(北西線を除く)	10,022,314	9,484,933	▲ 537,381	▲ 993,061	455,680
補助事業	8,743,081	8,205,700	▲ 537,381	▲ 993,061	455,680
通常補助(高規格道路ICアクセス)	1,400,097	1,440,000	39,903	▲ 97	40,000
通常補助(鶴ヶ峰連立)	630,000	630,000	0	0	0
通常補助(無電柱化)	355,666	496,000	140,334	140,334	0
社会資本整備総合交付金(体系ネット)	408,512	395,598	▲ 12,914	▲ 12,914	0
社会資本整備総合交付金(駅アクセス)	1,819,000	1,697,452	▲ 121,548	▲ 290,748	169,200
防災・安全交付金(通学路)	2,176,806	1,352,270	▲ 824,536	▲ 824,536	0
防災・安全交付金(国土強靱化)	1,510,000	1,756,480	246,480	0	246,480
住宅局交付金(泥亀釜利谷線)	425,000	425,000	0	0	0
地域高規格道路横浜藤沢線等計画調査	18,000	12,900	▲ 5,100	▲ 5,100	0
財源調整	0	0	0	0	0
市単独事業	1,279,233	1,279,233	0	0	0

\*現計予算額は、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。

## 2 月 補 正 事 業 計 画 書

令和 4 年度 [ 道 路 局 ]

事 業 名
12 款 3 項 2 目
河川整備費

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				一 般 財 源 等	
		国	県	負担金	その他	市債	一般財源
現計予算額*	1,991,576	393,000	378,000			426,000	794,576
執行見込額	2,744,576	643,000	612,000			695,000	794,576
今回補正額	753,000	250,000	234,000	0	0	269,000	0

**【事業概要】**

河川の氾濫による浸水被害を抑制・減災し、自然災害に強く安全・安心なまちづくりを目指し、時間降雨量約50mm対応の護岸改修を進めます。さらに、気候変動による大雨の頻度や強度が増加し、自然災害リスクが高まることを踏まえ、時間降雨量約50mm から60 mmへの整備水準の引き上げを目指します。

**【補正概要】**

国庫補助事業の認証減に伴う減額補正及び国の経済対策補正を踏まえた増額補正を行います。

**【事業費の内訳】**

	①執行見込額	②国補正増額分	③当初予算減額分	④現計予算額	差引(①-④)	備考
河川整備費	2,744,576	966,000	▲ 213,000	1,991,576	753,000	増
国費	643,000	322,000	▲ 72,000	393,000	250,000	
県費	612,000	301,000	▲ 67,000	378,000	234,000	
市債	695,000	343,000	▲ 74,000	426,000	269,000	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	794,576	0	0	794,576	0	
大規模特定河川事業	691,000	0	0	691,000	0	
国費	154,000	0	0	154,000	0	
県費	154,000	0	0	154,000	0	
市債	154,000	0	0	154,000	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	229,000	0	0	229,000	0	
都市基盤河川改修事業	1,766,576	903,000	▲ 201,000	1,064,576	702,000	増
国費	458,000	301,000	▲ 67,000	224,000	234,000	
県費	458,000	301,000	▲ 67,000	224,000	234,000	
市債	458,000	301,000	▲ 67,000	224,000	234,000	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	392,576	0	0	392,576	0	
準用河川改修事業	167,000	63,000	▲ 6,000	110,000	57,000	増
国費	31,000	21,000	▲ 2,000	12,000	19,000	
県費	0	0	0	0	0	
市債	83,000	42,000	▲ 4,000	45,000	38,000	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	53,000	0	0	53,000	0	
流域貯留浸透事業	34,000	0	0	34,000	0	
国費	0	0	0	0	0	
県費	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	34,000	0	0	34,000	0	
河川改良・老朽化対策事業	86,000	0	▲ 6,000	92,000	▲ 6,000	減
国費	0	0	▲ 3,000	3,000	▲ 3,000	
県費	0	0	0	0	0	
市債	0	0	▲ 3,000	3,000	▲ 3,000	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	86,000	0	0	86,000	0	

**【事業開始年度】**

大規模特定河川事業(R02)／都市基盤河川改修事業(S45)／準用河川改修事業(S50)／流域貯留浸透事業(S58)／河川改良・老朽化対策事業(H26)

**【根拠法令】**

河川法／市長が施行する河川工事等に関する協定(県・市協定)／社会資本整備総合交付金要綱(国土交通省)／大規模特定河川事業実施要領(国土交通省)／神奈川県市町村河川事業補助金交付要綱／横浜市下水道条例

**【根拠とするデータ等】**

河川整備計画、宇田川遊水地・鳥山川遊水地長寿命化計画、横浜市河川保全計画

\*現計予算額とは、当初予算額と補正予算額の合計のことを指します。